# 静岡労働局

### Press Release

静岡労働局発表令和5年4月27日

【担当】静岡労働局 労働基準部 健康安全課課 長 皆野川順夫 課長補佐 宮澤 純 (電話)054-254-6314

# 令和 4 年の労働災害発生状況について ~ 死亡者数は 30 人、死傷者数は増加傾向 ~

静岡労働局(局長 笹 正光)では、県内における令和4年における労働災害の発生状況を取りまとめました。その概要は以下のとおりです。

<u>死亡者数</u>は 30 人で、前年より 7 人増加した。業種別では、建設業 12 人、製造業 7 人の順に多く、両業種で約 63%を占める。

休業4日以上の死傷者数は4,547人( )で、<u>前年に比べ107人の増加となった</u>。 業種別では、令和3年と同じく製造業、商業、運輸交通業の順であった。

死傷災害における事故の型では、「転倒」が最も多く全体の 25%以上を占め、墜落・ 転落(同 15%) 動作の反動・無理な動作(同 14%) はさまれ・巻き込まれ(同 12%) と続く。転倒災害については、高年齢労働者の被災割合が高い。(別添 3 参照)

新型コロナウィルス感染症によるものを除く。(別添 1、2 参照)

県内では、死亡災害、死傷災害ともに近年増加傾向にあり、極めて憂慮すべき状況です。 さらに、外国人労働者の労働災害も増加傾向にあり、その発生率も全国平均と比べて高い 状況となっています。(別添4参照)

静岡労働局では、死亡災害を撲滅し、労働災害を減少させ、労働者一人ひとりが安全で健康に働くことのできる社会の実現に向け、本年度から令和9年度までの5か年を期間とする第14次労働災害防止計画を策定しました。(別添5参照)

今後、同計画に基づき、

1 建設業における死亡災害の撲滅

- 2 転倒災害の増加傾向への歯止め
- 3 外国人労働者の労働災害の減少
- 4 ストレスチェック制度のさらなる浸透

を重点課題として、労働災害防止対策を推進していきます。

〇労働者の作業行動に起因する労働災害防止のうち、転倒災害防止については、引き続き 当局独自の「静岡労働局ぬかづけ運動」を実施します。(別添6参照)

#### 令和4年労働災害発生状況の概要

#### 〇業種別

1 死亡災害(計30人)

・建設業 12人(前年比 2人増) ・製造業 7人 ( 同 増減なし)

ほか

2 死傷災害(計4,547人)

・製造業 1,293 人(前年比 60 人減)

・商業 686 人( 同 28 人増)

・運輸交通業 554 人 (同 13 人増)

・保健衛生業 467人( 同 25人増)

ほか 1,547 人

新型コロナウィルス感染症によるものを含んだ場合 死傷災害(計7,746人)

・製造業 1,381 人(前年比2人減)

・商業 736人(同 46人増)

・運輸交通業 576 人 (同 33 人増)

・保健衛生業 3,290人(同 2,690人増)

ほか 1,763 人

## ○事故の型別

1 死亡災害

・「墜落、転落」 13人( 同 7人増)

・「はさまれ、巻き込まれ」 4人( 同 3人減)

ほか

2 死傷災害

・「転倒」 1,157 人(前年比92 人増)

・「墜落・転落」 727人( 同 13人増)

・「動作の反動・無理な動作」 638人( 同 8人増)

・「はさまれ・巻き込まれ」 568人( 同 25人減)

ほか

#### 別添資料

- 別添1「労働災害発生状況(令和4年確定版)」
- 別添2「令和4年死亡災害発生状況」
- 別添3「転倒災害の発生状況」
- 別添4「外国人労働者の労働災害発生状況」
- 別添5「静岡労働局第14次労働災害防止計画の概要」
- 別添6「静岡労働局ぬかづけ運動」実施中!